



Saga
Prefecture
International
Relations
Association

心の国境をなくそう！ Free your heart of borders!

佐賀県国際交流協会年報

2025年度事業



公益財団法人 佐賀県国際交流協会

CONTENTS

協会概要	02
役員名簿	03
主な取り組み	04
事業年表	05
事業実績	06
A コミュニケーション支援	
国際交流・協力情報誌発行（外国人向け）	06
情報収集・提供	06
日本語教室支援	06
日本語ボランティア研修会	07
SPIRA日本語スピーチコンテスト	07
B 生活支援	
在住外国人生活支援	08
・生活相談・専門家相談	08
・医療通訳	08
子ども日本語学習サポーター等派遣	08
災害対応	09
C 多文化共生の地域づくり	
国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）	10
多文化共生セミナー	10
ボランティア啓発・推進	10
地球発見隊出前講座	11
グローバルデイ	11
多言語パートナーズによる文化とことば講座	12
SPIRAさが国際フェスタ	12
多文化共生等助成事業	13
Sagan World Cup 2025 フットサル大会	14
多文化共生情報発信事業	14
佐賀県国際交流プラザ運営事業	14
 さが多文化共生センター	15
その他の協会事業	
職員による研修講師・事例発表等登壇実績	16
インターンシップの受入	16
国旗の貸出	16
地球市民賞受賞記念交流会	17
SPIRAの本を作りました！	17
大阪・関西万博イベント登壇	17
佐賀県教育委員会及び国際協力機構九州センター （JICA九州）との覚書締結にかかる調印式	17
賛助会員 賛助会員募集	18

公益財団法人 佐賀県国際交流協会の概要

佐賀県国際交流協会（SPIRA）は、世界に開かれた佐賀づくりをめざして、1990年に設立されました。（2013年4月1日から公益財団法人へ移行）

設立から35年が経過し、設立時には1,700人程度だった外国人数は、2024年7月について1万人を超えました。また、この間に活動の柱は、「国際交流」から「多文化共生」へ大きくシフトしました。

SPIRAでは、「Free Your Heart of Borders!心の国境をなくそう!」をスローガンに、国籍や民族などの異なる人々がお互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく、いわゆる「多文化共生」の地域づくりのためのさまざまな事業に取り組んでいます。

このような活動が認められ、全国の国際文化活動を顕彰する2024年度国際交流基金地球市民賞や、2025年には佐賀新聞社が佐賀県の発展と郷土文化の向上に大きく貢献した個人や団体に贈る佐賀新聞文化賞・特別賞を受賞いたしました。これもひとえに、これまでSPIRAの活動に関わっていただいているみなさまのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

これからもみなさまと一緒に、多文化共生事業を一層進めていきたいと考えていますので、温かいご協力・ご支援をお願いいたします。



SPIRAのシンボルマーク「手をつなぎ、楽しくコミュニケーションする人と人。緑は佐賀平野、赤はお互いの熱意、青は世界に広がる海のイメージです。」

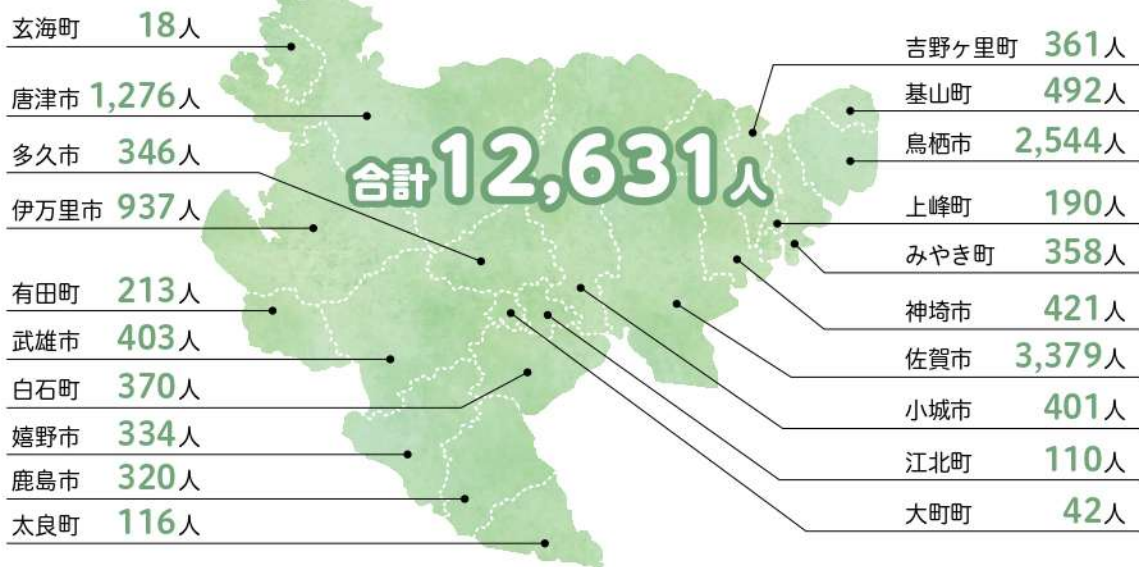
Saga
Prefecture
International
Relations
Association

「SPIRAの3つの基本方針」

1. 多文化共生の地域づくりの推進
2. グローバル人材の育成及び国際交流団体等の活性化
3. 多様な主体との連携・協働

佐賀県内外国人住民の数（市町別）

※2026年1月1日現在佐賀県多文化共生さが推進課調べ（暫定値）



評議員 [11名]

役職名	氏名	団体名・役職名
評議員	三島 伸雄	国立大学法人佐賀大学
評議員	今村 盛史	佐賀県商工会連合会 専務理事
評議員	西岡 剛志	佐賀県中小企業団体中央会 専務理事
評議員	古賀 孝博	佐賀県農業協同組合中央会 専務理事
評議員	山崎 日出男	一般社団法人佐賀県建設業協会 専務理事
評議員	草場 義樹	一般社団法人佐賀県労働者福祉協議会 理事長
評議員	高島 忠平	公益財団法人佐賀県芸術文化協会 理事長
評議員	山口 七重	佐賀県地域婦人連絡協議会 会長
評議員	森田 徹	佐賀県高等学校PTA連合会 会長
評議員	貞松 明子	佐賀県地域日本語教育指導者
評議員	西浦 聡子	佐賀県地域交流部 多文化共生さが推進課 課長

理事 [11名]

役職名	氏名	団体名・役職名
理事長	黒岩 春地	佐賀県国際交流協会 事務局長
副理事長	寺田 博文	佐賀県地域交流部 部長
副理事長	伊東 健吾	佐賀県町村会 理事
理事	原岡 秀直	佐賀県教育委員会事務局 副教育長
理事	川崎 和正	佐賀玄海漁業協同組合 組合長
理事	江打 正敏	佐賀ユネスコ協会 会長
理事	中尾 清一郎	株式会社 佐賀新聞社 社長
理事	指山 弘雄	株式会社 サガテレビ 社長
理事	下平 幸男	一般社団法人佐賀県観光連盟 常務理事
理事	廣瀬 伸恵	特定非営利活動法人地球市民の会 事務局次長
理事	大橋キムバリーアン	佐賀県国際交流協会 医療通訳サポーター

監事 [2名]

役職名	氏名	団体名・役職名
監事	片淵 義孝	佐賀県市長会 事務局長
監事	今村 早人	佐賀県商工会連合会 事務局次長

A コミュニケーション支援



在住外国人支援団体との連携により地域情報を多言語化およびやさしい日本語化し、行政・生活情報の提供を推進しています。

- ・国際交流・協力情報誌発行（外国人向け）
- ・日本語教室支援
- ・SPIRA日本語スピーチコンテスト
- ・日本語ボランティア研修会



B 生活支援



医療、保健、福祉、教育等様々な相談を受け、関係機関との連携により対応しています。また、災害に備え外国人を対象にした防災訓練や、災害多言語支援センターの運営準備にも力を入れています。

- ・在住外国人生活支援
 - 生活相談・専門家相談 ●医療通訳
- ・子ども日本語学習サポーター等派遣
- ・佐賀県災害多言語支援センターの活動
- ・外国人のための体験型防災セミナー



C 多文化共生の地域づくり



日本人も外国人も対等な暮らしやすいまちづくりを目指し、地域社会に対する多文化共生の意識啓発や、外国人住民の自立と地域社会への参画をサポートしています。

- ・国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）
- ・地球発見隊出前講座（多文化共生理解出前講座、国際協理解出前講座）
- ・多文化共生セミナー
- ・ボランティア啓発・推進
- ・多文化共生等助成事業
- ・SPIRAさが国際フェスタ
- ・Sagan World Cup フットサル大会
- ・多文化共生情報発信事業（えびすFM）
- ・佐賀県国際交流プラザ運営事業

さが多文化共生センター



その他の協会事業

- ・インターンシップの受入
- ・国旗の貸出 等

SDGsとは？

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（No one will be left behind.）ことを誓っています。

多文化共生とは

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことを言います。

（出典：多文化共生の推進に関する研究会報告書）

事業年表

2025	5.16~2026.3.13	入管手続相談会(全6回)
5.18		外国人のための体験型防災セミナー(有田町)
5.27		(公財)佐賀県国際交流協会2025年度 第1回 理事会
6.11		(公財)佐賀県国際交流協会2025年度 評議員会
5.22		災害多言語支援センター設置訓練(1回目)
6.14		多文化共生セミナー【紛争地の真実と希望】 元子ども兵社会復帰支援の最前線から
8.2~1.23		医療通訳養成講座
10.12		第10回 SPIRA 日本語スピーチコンテスト
10.05		2025 SPIRA さが国際フェスタin 嬉野
11.29		多文化共生セミナー「国際交流なんて必要?」
12.21		Sagan World Cup 2025 フットサル大会開催
12.02		災害多言語支援センター設置訓練(2回目)
2026	1.17~2.26	日本語学習サポーター等養成講座 (日本語ボランティア研修会+子ども日本語学習サポーター養成講座)
1.25		外国人のための体験型防災セミナー(佐賀市)
2.14		外国人のための体験型防災セミナー(嬉野市)
3.26		(公財)佐賀県国際交流協会2025年度 第2回 理事会

A コミュニケーション支援

国際交流・協力情報誌発行（外国人向け）



4月にやさしい日本語でのHelloSagaを発行しました。その後は、紙媒体での発行を廃止し、佐賀での生活に役立つ情報や、入管からのお知らせ、国勢調査のお知らせなどをFACEBOOKで発信するようにしました。見出しを9言語で発信し、やさしい日本語だけでなく多言語の情報を届けられるようにしました。



情報収集・提供

インターネット・メールやホームページ等で情報提供を行いました。イベント情報などの更新を随時行い、常に新しい情報を提供できるよう整え、必要に応じて佐賀県発信の情報を多言語で配信しました。

また、Facebook、LINEを活用し、さまざまな多文化共生に関する情報や外国人住民に有益な情報を素早く届けることができました。



日本語教室支援



外国人住民のコミュニケーション支援、多文化共生の地域づくり、生活者支援を目的として、地域で活動している日本語指導のボランティアグループに対して会場費や教材費等の活動費の補助や広報協力等を行い、その運営を支援しました。



県内の日本語教室（2025年度）

市町	グループ名	市町	グループ名
佐賀市	にほんごすいもく 水ようび	伊万里市	日本語教室いまり
	にほんごすいもく 木ようび		Awesome IMARI
	どようび日本語 in SAGA(にほんごどようび)	武雄市	たけお日本語教室
	日本語ネットワーク佐賀(日本語会話教室)	小城市	おぎ日本語教室
	国際コミュニケーションネットワークかけはし(にほんがっこう)	嬉野市	カフェこくさいじん
	日本語サークル in SAGA ラポール(日本語サークルラポール)	神崎市	神崎日本語教室
	「ともに学ぼう!」～日本の言葉・生活・文化～	吉野ヶ里町	meet üp よしのが里
はなすくらす 佐賀市	基山町	基山にほんごひろば きやまっち	
唐津市	唐津日本語教室	みやき町	みやき町日本語ひろば ～ちかっとにほんご～
	にほんご晴	有田町	日本語教室 in Arita
鳥栖市	とすにほんごひろば ～とりんす～	大町町	にほんごこりすくらぶ
	日本語教室あいうえOh!	白石町	しろいし Wa!Wa!Wa!
多久市	多久日本語教室	太良町	日本語ひろば たららんば♪

(2025年度補助金交付実績 11団体)

日本語ボランティア研修会



これから日本語ボランティアを始めたいと考えている方や学びなおしを目的とする方を対象とした講座を行うことで、今後の日本語教育の活動者につながる人材を育成するとともに、活動中のボランティアも共に教室のあり方・活動を考える場を提供することを目的とし実施しました。昨年度に引き続き子ども日本語サポーター養成講座と合同で複数回実施しました。

第1回

テーマ 「外国人の伝えたいことに寄り添っていく聞く力とは？」
日時 2026年1月17日(土)13:00～15:00
講師 NPO多文化共生プロジェクト
 代表 深江 新太郎 氏
参加者数 22名

第2回

テーマ 「佐賀県の日本語教室の現状／ボランティアとして活動するために知っておきたいポイント」
日時 2026年1月22日(木)13:00～15:00
講師 佐賀県多文化共生さが推進課
 日本語コーディネーター 市丸 佳代子氏
参加者数 10名

第3回

テーマ 「日本語教室を体験しよう」
日時 2026年1月29日(木)13:00～15:00
講師 佐賀県多文化共生さが推進課
 日本語コーディネーター 市丸 佳代子氏
参加者数 8名

第4回

テーマ 「外国につながる子どもが抱える課題」※オンラインで実施
日時 2026年2月5日(木)13:00～15:00
講師 久留米大学 外国語教育研究所 准教授
 ディヌーシャ ランブクピティヤ 氏
参加者数 11名

※第1回を共通講座として、第2～3回が「日本語ボランティア研修会」、第4～7回が「子ども日本語学習サポーター養成講座」。

第5回

テーマ 「子どもの日本語学習支援の方法」
日時 2026年2月11日(水・祝)13:00～16:00
講師 佐賀県日本語学習支援“カスタネット”
 宮崎国際大学 准教授 早瀬 郁子 氏
参加者数 17名

第6回

テーマ 「教科学習につなげる日本語指導」
日時 2026年2月21日(土)9:30～12:30
講師 東京学芸大学 准教授
 原 瑞穂 氏
参加者数 25名

第7回

テーマ 「実践例から学ぶ日本語指導法」
日時 2026年2月26日(木)13:00～15:00
講師 とよなかJSL
 田中 薫 氏
参加者数 18名



第10回 外国人による日本語スピーチコンテスト



青少年部門4名、成人部門13名の計17名の日本語学習者が出場しました。日頃の成果を発表する貴重な機会であると同時に、佐賀県民と外国人住民の相互理解・交流が促進され、双方に新たな視点を与える機会となりました。

また、10年目の節目の特別企画として、インドネシア出身で県内在住のダンサーをゲストに迎え、インドネシア伝統ダンスを披露していただきました。

日時 2025年10月12日(日) 13:00～17:00
会場 エスプラッツホール
 (佐賀市文化交流プラザ交流センター内)



B 生活支援

在住外国人生活支援



- **生活相談・専門家相談** 生活相談・専門家相談については「さが多文化共生センター」p.15をご覧ください。
- **医療通訳** 外国人住民の医療面に関する支援として、「医療通訳サポーター」を保健・医療機関等(46箇所)へ延べ240件(うち英語222件、中国語10件、ベトナム語3件、タガログ3件、ウクライナ語1件、インドネシア語1件)派遣しました。また、医療機関に働きかけて、多言語通訳コールセンターの案内と一層の利用を促しました。

医療通訳サポーター養成講座



日程 2025年8月2日(土)～2026年1月23日(金) (全10回)

全言語共通: 「医療は文化です～多文化共生社会における医療通訳者の大きな役割～」
 公益社団法人日本WHO協会 理事長 中村 安秀 氏
 「実践から学ぶ通訳者としての心構え」 医療通訳者研究会 代表 村松 紀子 氏
 「通訳に求められるスキルとコミュニケーション力」
 一般社団法人 全国医療通訳者協会(NAMI) 代表理事 森田 直美 氏
 なかしまクリニック院長 中島 弘治 氏 / 佐賀県国際交流協会 中村 香奈子、本村 実枝子
 佐賀市健康福祉部健康づくり課 坂田 千草 氏

講座の内容
講師

言語別演習: ・英語 渡邊育子氏 ・ベトナム語 Bui Thi Thu Sang 氏
 ・インドネシア語 石橋HELMINDAWATI氏
 ・スペイン語 一般社団法人 全国医療通訳者協会(NAMI)杉下 由紀子 氏
 ・中国語 北京二ハオ中国語センター 蔣 晶 氏

参加者(延べ人数) 全言語共通講座 延べ 158名
 講座受講者数 (英 語)15名 (ベトナム語)8名 (インドネシア語)5名 (中国語)3名 (スペイン語)2名

子ども日本語学習サポーター等派遣



県内の小・中学校に通う外国につながるを持つ児童生徒及びその保護者、学校関係者を対象に、子ども学習支援サポーターを派遣しました。学校からの依頼に応じて、当協会のボランティア登録者からサポーターを選定し、県内の小・中学校で日本語指導や通訳としてご活躍いただきました。



活動内容

- ①子ども日本語学習サポーター：児童生徒本人に対する日本語指導や学習のサポート
- ②学校通訳サポーター：児童生徒本人やその保護者と学校間での通訳

2025年度 派遣実績

子ども日本語学習サポーター	17件 (162時間)	小学校 8 校、中学校 2 校
学校通訳サポーター	12件 (16時間)	小学校 4 校、中学校 2 校

子ども日本語学習サポーター養成講座

2025年度の講座は、p.7の日本語ボランティア研修会と合同で実施しました。



災害対応



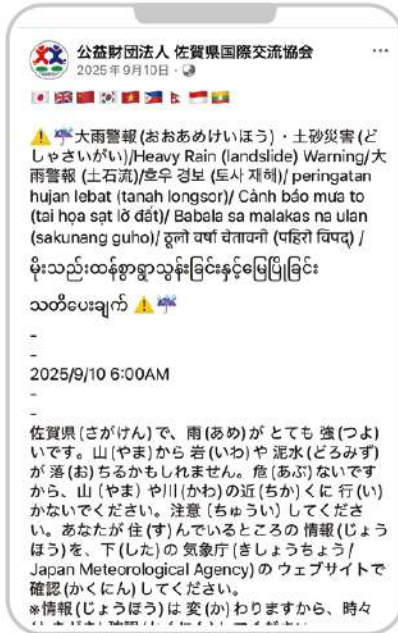
● 2025 災害対応と佐賀県災害多言語支援センターの活動

SPIRAでは、災害時に外国人住民向けに必要な情報をSNS等で多言語発信しています。災害時に外国人が母語で情報を得られることは、正確に状況を理解し、適切な避難行動につなげるために欠かせません。

大規模災害の時は、県の多文化共生さが推進課と共同で、佐賀県災害多言語支援センターを立ち上げ、24時間体制で必要な情報を発信します。

今年も昨年に続き、多言語支援センターとしての活動はありませんでしたが、年に2回(5月、12月)支援センターの立ち上げ運営訓練を実施し、有事に備えています。

5月は、新規職員向けに多言語支援センターの概要説明と、立ち上げから翻訳までの流れの確認訓練を行い、12月には立ち上げから、外国人住民から相談が寄せられた場合の想定等も含めた訓練を行いました。



外国人のための体験型防災セミナー

災害時、母国との災害の違いや、言葉の問題などから、災害時要支援者と言われる外国人。

SPIRAでは、外国人住民に日本で起こる災害についての理解を深め、いざ災害が起こった時には自分で身を守り(自助)、適切な行動(避難等)に繋がられるよう、防災について学ぶ体験型のセミナーを開催しています。

防災セミナーでは、災害の基礎知識に加え、避難所や防災グッズ(食)、地震や煙体験等を通し、災害時の必要な対応について学ぶ機会を提供しました。

- 日時** 2025年5月18日(日) 9:30~12:00
- 会場** 婦人の家(有田町)
- 参加者** ジョイソン・セイフティ・システムズ・ジャパン 合同会社 実習生 21名
- 協力機関** 伊万里警察署、日本赤十字社佐賀県支部



- 日時** 2026年1月25日(日) 9:30~12:00
- 会場** 佐賀広域消防局
- 参加者** 佐賀女子短期大学 留学生 18名
- 協力機関** 佐賀広域消防局、日本赤十字社佐賀県支部



- 日時** 2026年2月14日(土) 9:30~12:30
- 会場** 嬉野中央体育館(U-SPO)
- 参加者** ICA国際会話学院 留学生 35名
- 共催** 嬉野市
- 協力機関** 嬉野警察署・鹿島消防署



C 多文化共生の地域づくり

国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）

県・当協会及び県内の民間国際交流団体等のイベントの広報、国際交流・協力を実践しているボランティアの方の紹介、各種研修会のお知らせ等を記載し、県内の各市町に送付、設置協力いただき、国際交流・協力に関する情報の提供を行いました。

全カラー4ページ2,000部 年4回発行
配布先：当協会賛助会員、各市町、公民館、教育機関、公共施設、国際交流団体等



多文化共生セミナー



様々な方に多文化共生や国際理解・協力について考えるきっかけを作ることを目的にセミナーを開催しました。今年は2回開催し、1回目は元子ども兵の社会復帰支援に関わる認定NPO法人テラ・ルネッサンスの小川さん、トシャさんに講演いただきました。お二人のご経験を熱く語られる姿に引き込まれました。2回目は動画クリエイターとして活躍するミスターヤバタンさん、Dogenさんをお招きし、トークショー形式でお話いただきました。趣味や好きなことで人が集まり、結果的にそれが国際交流となるという視点は新たな気づきがありました。両セミナーとも70名以上の方にご参加いただきました。今年のセミナーは外国人の方や若年層の方の参加も多く、新しいセミナーの形ができました。

●【紛争地の真実と希望】元子ども兵社会復帰支援の最前線から

日時 2025年6月14日（土）18:00～19:30
会場 商工ビル7階 大会議室
講師 認定NPO法人 テラ・ルネッサンス
理事/海外事業部長 小川真吾氏
アフリカ事業コーディネーター
トシャ・マギー氏



●「国際交流なんて必要？」

日時 2025年11月29日（土）13:30～15:00
会場 商工ビル7階 大会議室
講師 クリエイター ミスターヤバタン氏
Dogen氏



ボランティア啓発・推進



ことば多言語、医療通訳、ことば日本語、子ども支援の4つの分野でボランティア登録を行い、ボランティア登録者のメールアドレス等を管理し、情報を提供しました。各種イベント、日本語指導や医療現場での通訳等、地域外国人住民の方々への支援に協力していただきました。

ボランティア登録者数（2026年3月31日現在）

ことば多言語 ・うち医療通訳	169名 58名
ことば日本語 ・うち子ども支援	98名 77名